

Carpia Celhome is back!

創刊45周年記念 スペシャル連載企画

★現在の「カーピアセロム(隔月刊)」は、昭和56年7月に譲渡を受けた「月刊中古車情報」から誌名を変えて「月刊カートピア」して誕生しました。その後、幾多の変遷(誌名、発行時期)を経て、カーピアセロムは今年で創刊45年目を迎えました。

創刊時の月刊カートピア(B5版112ページ)は「北海道のクルマ文化を楽しくするカーマガジン」がキッチフレーズでした。

誌面はクルマ、音楽、テレビ、ラジオ、映画そして車のマンガ(石川寿彦作・画)と娯楽の記事が豊富な雑誌でした。

それは雑誌の読者層を、将来車の購入見込み客である若者を主なターゲットとしていたからです。

1970年代以降、国内はモータリゼーション全盛時代となり、新車市場が急成長し、メーカー(&ディーラー)間の激しい販売強硬時代に突入した時代でした。

さらに、普及したカーラジオ、オーディオというラジオ局の番組聴取率競争に本誌は注目。そして創刊した本誌のキッチフレーズを「クルマ



とラジオの情報誌」として在札ラジオ局とタイアップし、番組情報やアナウンサー紹介も掲載し華やかな誌面で20〜30代の社会人、大学生に好評を得ました。

★これからは自動車業界が100年に一度の大変革を遂げる時代に突入し、社会は「IT(情報技術)」「ICT(情報通信技術)」「IoT(モノのインターネット)時代を迎えます。また、大気汚染問題(地球温暖化)、地球温暖化問題(地球温暖化)の要因となる自動車の「排出ガス」が課題となっており、脱炭素が促進されるでしょう。

編集部では、創刊45周年を記念して、創刊以来取材した、メーカーやディーラーの創業者、そして誌面が許せば当時の地元経済界トップの経営者などを「創刊45周年記念スペシャル連載企画」としてアンコール掲載していく予定です。第1回目はヤナセの創業者 築瀬次郎氏とスズキを巨大企業にした鈴木修氏、そして北海道日産自動車の川上澄元社長です。ご期待ください。

(S・T)